



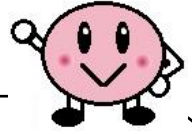
# EGOTAN通信

—江古田小学校 研究だより—

平成29年9月 日  
中野区立江古田小学校  
研究推進委員会  
第 4 号



研究主題 自分の考えをもち 学び合う 算数学習  
—集団検討の場を通して—



第4回研究授業報告～9月20日（水）～

第3学年 単元名「10000より大きい数を調べよう」

授業者：田中 裕也先生

講師：元東京都小学校算数教育研究会会長 元港区立赤羽小学校長

聖徳大学院名誉教授 松山 武士先生

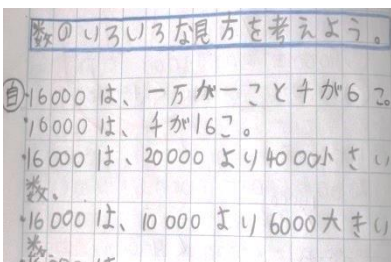
## 【本時のねらい】

数の構成を多面的にとらえ、数の見方を豊かにする。

## 【授業のポイント】

数の学習については、2年生までに10000までの数の読み方、書き方について学習をしてきました。3年生では、1億の数までの位取りや、数の構成について学びます。本時では、16000という数について、数の構成を多面的にとらえて数の見方を豊かにすることをねらっています。ここで大切なことは、「16000は10000と6000を合わせた数」や「1000を16個集めた数」「20000-4000」のように、言葉や式で表せることや、数直線上に表せるというように多面的に数をとらえることです。

## 【児童のノート】



## 【学習感想から】

- 図や数直線を使った友達の考えを見て、とてもわかりやすくおもしろいと思いました。
- 16000の表し方がたくさんあったのでびっくりしました。

## 【講師の松山先生より】

2年生までは数を具体的な物の量でとらえてきたが、3年生からは次第に抽象的な数としてとらえるようになってくる。今回は導入にお金を扱っていたが、具体から抽象への橋渡しとして意義のある時間であった。また、生きて働く知識や技能を習得させるには、日常事象との関連付けや活用がとても重要である。その意味でお金を題材に単元を開発できたことは良かった。本単元の学習を通して、数の見方を豊かにする（合成したり、分解したり、100の単位で考えたり）ことで、今後の数や計算の学習に生かして行ってほしい。話し合いについては、友達の考えを聞き、自分の考えに取り込んでいける（妥当性を検証し、批判的に取り込む）ような話し合いが大切である。

様々なご指導をいただきました。今回の研究授業を通して、より一層、授業力向上に努めていきます。

